

ふでがさき
筆ヶ崎古墳群（第2次）

所在地：四日市市小牧町

遺跡への経路：東洋ゴム工業桑名工場が目印です。国道365号員弁バイパスを、朝明川にかかる新小牧橋から1.2kmほど北方向へ進み、長深東の交差点を東へ曲がります。そこから500mほど直進し、東洋ゴム工業桑名工場に達したところの南側に調査現場があります。

位置情報URL：

<http://www.gis.pref.mie.lg.jp/mmm/index.html?z=256&ll=35.04988657407407,136.5847175141243>

調査の種類：本調査

調査原因：新名神高速道路（四日市JCT～亀山西JCT）建設事業

調査期間：平成23年9月20日～平成24年1月31日（予定）

調査面積：750㎡

主な遺物：土師器、須恵器、鉄製品、金環など

主な遺構：横穴式石室、竪穴住居など

コメント：これまでの調査で1・2号墳は、古墳時代の終わりごろ（1400年ほど前）に造られた、横穴式石室をもつ古墳であることがわかりました。1号墳の石室内から、金環が2点出土しました。また、1号墳の東裾には奈良時代の工房と思われる施設を発見しました。工房の中には鍛冶炉が2基あり、炉の中には鉄滓（鉄を加工する際に生じるかす）が残っていました。こうした鍛冶炉の存在は、この地域が古代に大金郷と呼ばれていたこととも関係するのかもしれませんが。



2号墳石室内の様子。



奈良時代の工房と思われる施設の鍛冶炉の様子。



1号墳石室内から出土した金環。

問い合わせ先：

〒512-8064 三重県四日市市伊坂町 126-1

三重県埋蔵文化財センター 調査研究 課 四日市整理所

担当：中村・石井

電話番号：059-363-3195 / ファックス：059-363-3196

e-mail：maibun@pref.mie.jp